

生きる力を育む「遊び」と「場」の力を考える



千葉県プレイワーカー研修 2021

子どもの遊びに関わる専門職「プレイワーカー」

子ども自身の意思によって始まる遊び、その中での様々な体験やプロセスを通して子どもが自ら成長する遊び場づくりや子どもとの関わり方について考える研修です。



・参加費 1,500 円/回
(学生 1,000 円)

※資料代込み

・定員 各回 30 名
・講師 県内のプレイワーカー
運営スタッフ等

*どなたでも参加できます。
*原則オンライン講座です。
*第4回は実地での研修となります。
オンライン講座では
オンライン会議アプリ Zoom を使用します。
Zoom アプリの使用できる端末を
ご用意下さい。
通信料は各自ご負担ください

第1回	5/19(水)	プレーパークについて	
	①10:00~②19:00~	プレーパークの理念、共通理解、社会的な役割、プレイワーカーの役割や資質について	
第2回	7/21(水)	リスクとハザード	
	①10:00~②19:00~	開催していく中でのリスクとハザード、不測の事態への対応、事例検討	
第3回	9/15(水)	子どもの発達	
	①10:00~②19:00~	子どもの遊びと発達、感覚統合や非認知能力について	
第4回	①11/17(水) 10:00~	遊び研究(実地研修)	※天候等により日程を変更することがあります。
	①11/23(火祝) 10:00~	遊びの体験、子どもへの関わり方について	実施場所、変更についてはSNS等にてお知らせします。
第5回	1/19(水)	プレーパークの運営	
	①10:00~②19:00~	振り返りの方法や団体運営について	

※講座は各回2時間を予定しています。

※各回ごとにレポートを提出し、全ての講座を受講していただくとプレイワーカー認証を得られます。

(受講有効期限3年)

詳しくは裏面をご覧ください。

※変更等は ChibaBo! の facebook でお知らせします。

【申込方法】

講座のお申込み
詳細はこちらから→
メールでも
申込可能です。
chibabo.net@gmail.com



【主催】千葉県冒険遊び場ネットワーク (Chiba Bo!)

【問合せ】 chibabo.net@gmail.com

千葉県冒険遊び場ネットワークは千葉県内でプレーパークの活動をする団体のネットワークです。

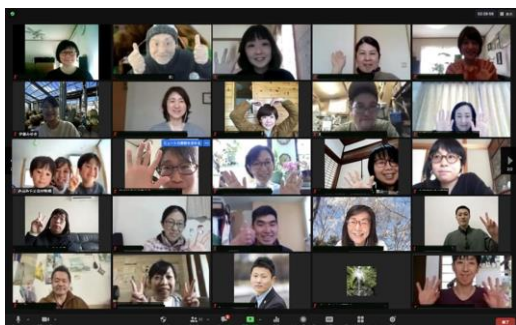
「子どもたちにより幸せな子ども時代を」をコンセプトに活動しています。



講師は現役のプレイワーカー・プレーパーク運営者
経験にもとづいた実践的な講座内容です。



ワークもたっぷり!参加型オンライン講座
少人数に分かれてのワークもあり、質問も受け付けます。



大人も遊んでみよう!実際の遊び場での研修
実際に自分で体験しながら楽しく学びます。



『千葉県冒険遊び場ネットワーク』は
ゆるやかに繋がってきた千葉県内プレーパーク
活動団体のネットワークをさらに広げ、
充実した活動をしていくために、2011年6月から
県内市民団体が協力して設立した団体です。
ちばぼうでは、情報交換や合同の研修会を行い、
各団体の課題解決や、それぞれの団体でえたことを
他に活かしていくことを目的としています。



ちばぼうの
活動に
ついては
こちら

子どもの育ち・遊び・場づくり・地域とのつながり...
出張講師依頼はこちらまで
chibabo.net@gmail.com
講座テーマ、内容、実施場所などお気軽にご相談ください。

◆プレーパークとは

プレーパークは子ども達が
自主的自発的に遊ぶ
「子ども達の遊び場」です。
いつでも、だれでも
遊びに来ることができます。
(もちろん、保護者も地域の方も!)
子ども達が自分のペースで
挑戦しながら過ごせることを
大切にしています。



◆プレイワーカー認証とは

2019年度よりちばぼうのプレイワーカー研修を受講
いただき、すべての講座についてレポートを提出いた
だいた方にプレイワーカー認証を行っています。
(受講有効期限3年)
認証者には認定証と認定カードを発行します。



~研修参加者より~

母親でもあり、ボランティア活動などで子どもと関わる生活を送る中で、我が子以外の子どもや大人と接する時に「これはどう対処したらいい?」ということが度々起こります。「答えはないんだよね」という研修で衝撃を受けました。

子ども一人一人違うんだから起こることが違うのは当然。「遊ぶ」に含まれたたくさんの意味や子どもにとってのリスクとハザードは何か?現場に立ってみて研修で言ったことはこれだったか!と自分で納得できる。

現場→研修→現場→研修→現場...この繰り返しで子どもたちを真ん中にした遊び場へ向かっていけるんじゃないかという自信につながりました。

現場に立つ時になにを見るのか...意識が変わり動きも変わりました。現場で生きる研修をこれからも受けていきたいと思えます。(成田市在住 Tさん)